



学校だより～笑顔と協働の学校づくりを目指して～

北河田小通信



令和7年12月12日

大切な存在～人権週間に寄せて～

人権週間に寄せて、5日（金）の集会は、絵本「あの子」（ひぐちともこ作・絵 エルくらぶ）の読み聞かせをしました。講話の一部を紹介します。

「人権」難しい言葉ですね。わたしは、自分も大事に、そして周りも大事にすることだと思います。「自分だったら…」と考えること。例えば、人に言われてうれしい言葉がありますよね。（子供たちにその場で聞きました）「ありがとう」「大好き」「すごいね」…なるほど、言われるとうれしくなる言葉「ふわふわ言葉」です。反対に、言われて傷つく言葉「ちくちく言葉」もあります。仲間はすれ、自分がされたら…。嫌な気持ちになります。今日、みなさんに紹介した絵本のような「うわさ話」。何が本当かわからないまま、どんどんうわさが広がっていく。怖いことです。「自分だったら…」自分がされて嫌なことはしません。「こういう言い方をするとどうかな」相手の気持ちを想像することとても大切なことです。

校長講話後は、後期児童会が中心となり「みんなで楽しくつながることを大事にしたい」をねらいとして、全校で「じゃんけん列車」を行いました。児童会からは「学年に関係なく、つながることで、もっとなかよしの輪が広がるといいなと思います」「これからも困っている人がいたら、声をかけたり、やさしい言葉をかけたりして、人権を大切にする学校にしましょう」と話がありました。また、人権週間中（4日～10日）は、放送委員会の児童が給食の時間に、人権に関するメッセージ「日頃の言葉づかいについて考えてみましょう」「友達を大切にすることは自分を大切にすることです」など、全校児童に届けました。



声と心を
合わせて
全校合唱
♪夢の
世界を♪

寒さに負けず、健康な体づくりを目指して

12月3日のマラソン大会では、みぞれが降る寒い中ではありましたが、どの子も、自分のペースで最後まで、走り切ることができました。PTA役員の皆様には観察のお手伝いをいただき、ありがとうございました。また、保護者の皆様のご声援が、子供たちにとってパワーとなりました。

寒さが本格的になりました。感染予防のため、引き続き、手洗い・うがい・換気と呼び掛けています。今週は、保健委員会の児童が、各教室に出向いて、「正しい手の洗い方」を説明し、動画に合わせて、実際に手を洗う練習をしました。

